

立水栓 施工 & 取扱説明書

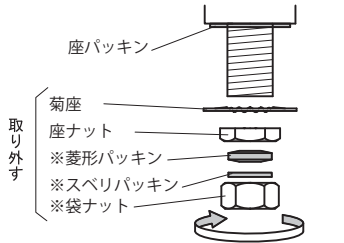
この度は、立水栓をご購入いただきありがとうございます。
ご使用前に、この「施工 & 取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

<施工店の方へ>

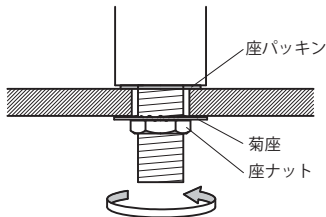
- 施工前に輸送中の破損が無いか確認して下さい。
- 施工に際しては、必ずこの施工 & 取扱説明書に従い正しく施工してください。
この施工 & 取扱説明書に記載されていない方法で施工し、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねます。
- 保証書はこの説明書内に記載しております。保証書にお取付店名、お取付日、対象品番への丸付等の記入をご確認下さい。

立水栓、脚部の取付け

1 水栓に取付けてある袋ナット、座ナットのネジを回し、菊座を取外します。
※取外す際には部品を無くさないようご注意ください。

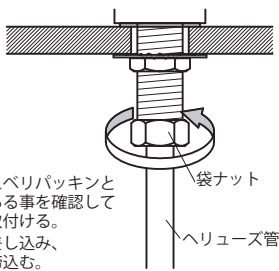


2 天板の穴に差し込み、菊座を入れ、座ナットで締め付けます。



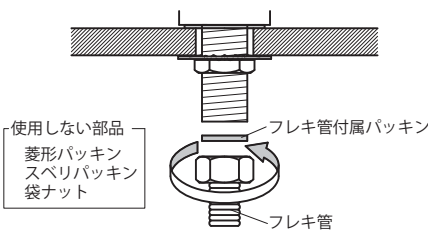
※取付穴径・・・φ22～25mm

3 (ヘリューズ管の場合) 本体と止水栓を接続します。付属の袋ナットにスライドパッキン、パッキンが入っている事を確認し袋ナットを取付けて下さい。



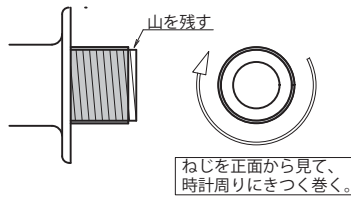
- ① 袋ナットの中にスベリパッキンと菱形パッキンがある事を確認して袋ナットを緩く取付ける。
- ② ヘリューズ管を差し込み、袋ナットを強く締めます。

4 (フレキ管の場合) 本体と止水栓を接続します。フレキ管のナットを利用して、直接本体へ接続して下さい。必ずフレキ管に付属のパッキンを使用して下さい。



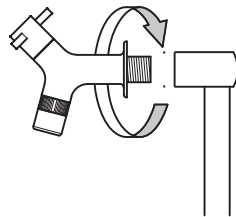
横水栓の取付け

1 水栓のねじにシールテープを巻きつけます。テープは、管端面からはみ出さないよう山を1～2山残した状態で、テープがたるまないよう巻きつけます

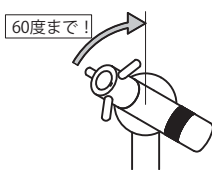


管端からはみ出して巻きつけると、テープが切れて管内のゴミとなり、水漏れ原因となります。

2 シールテープの長さは目安として20cm程度(6～10周程度)ですが、施工状況に応じて長さを変えて下さい。



3 シールテープの巻量为垂直位置を調整して下さい。工具を使って位置を調整する場合は、60度までに留めて下さい。(めねじ側が破損する危険があります)



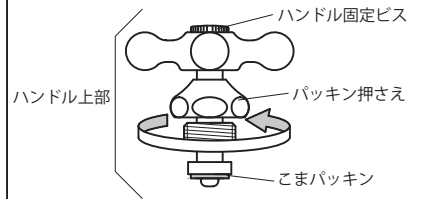
4 施工完了です。施工後は、必ず『フラッシング』(配管内のゴミを流しだすために約30～60秒程度勢良く水を流す処理)を行って下さい。

各部から水漏れが無いかどうか、確認をお願いします。

・水が止まらない、水が流れない場合には、『こま』にゴミが着いている、本体にゴミが詰まっている事がありますので、下記の手順により、『こま』及び本体の掃除を行って下さい。

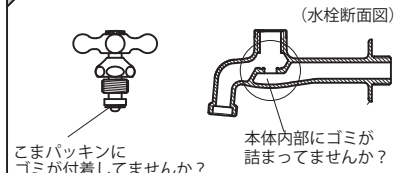
こまの掃除

1 止水栓を閉じ、給水を止めます。パッキン押さえのネジを回し、ハンドル上部を取り外します。



パッキン押さえがハンドルで隠れている場合、ハンドル固定ビスをプライヤー等で取り外し、ハンドルを外してから作業を行って下さい。

2 こま及び本体側に詰まっているゴミを取り除きます。(ピンセット、懐中電灯等をご利用下さい)



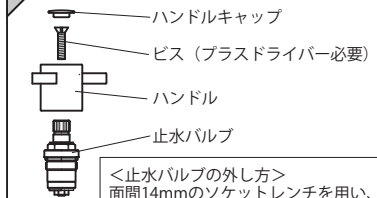
こまパッキンにキズや劣化が見られる場合、交換をお願いします。(規格の13mm固定こまをお買い求め下さい)

作業後、反対の手順にて、締め付けます。

製品によっては、止水バルブを組み込んでおります。

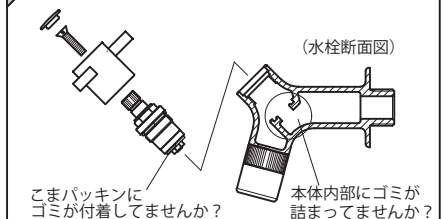
止水バルブの掃除

1 止水栓を閉じ、給水を止めます。ハンドルキャップ、ビスを取り外し、ハンドルを外します。



<止水バルブの外し方> 面間14mmのソケットレンチを用い、反時計回り回りに回し、止水バルブを取外します

2 こま及び本体側に詰まっているゴミを取り除きます。(ピンセット、懐中電灯等をご利用下さい)



こまパッキンにキズや劣化が見られる場合、止水バルブの交換をお願いします。

作業後、反対の手順にて、締め付けます。

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。

●このとき、確実にフラッシングを行ってください。フラッシング: 蛇口を全開し、約30～60秒間勢よく通水を行ってください。

施工後数日～数ヶ月で、『水がでない、止まらない、水が漏れる』等のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』です。

・フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いてください。

■故障したときは

故障したときの修理はお取付店にご依頼下さい。

■修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも修理できますので、修理を依頼される前に下表項目の点検をして下さい。

現象	お調べいただくところ
●吐水量が少ない	・止水栓は開いていますか？ ・吐水口が目詰まりはありませんか？（吐水口の掃除参照） ・ 水栓内部にゴミが詰まっていませんか？
●止水できない	・ハンドルは閉じていますか？ ・ 水栓内部にゴミが詰まっていませんか？

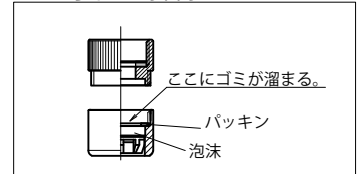
■取付後の点検

- ・水栓の出し止めを数回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れが無いことを確認して下さい。
- ・天板の上から水栓に対し、水をかけてキャビネット内に侵入が無いか確認して下さい。

■吐水口の掃除

- ・吐水口部が詰まると吐水量が少なくなったり、温度調整が出来なくなる等充分な性能が発揮されなくなりますので、時々掃除して下さい。
- ※吐水口部を取外し、泡沫の網目や穴に詰まったゴミをブラシなどで取り除いて下さい。

<吐水口の掃除>



お手入れの方法

- ・いつまでも美しさを保つため、柔らかい布で拭き、メッキされたところはミシン油やカーワックス等を染み込ませた布で磨いて下さい。
- ・クレンザー、磨き粉、粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわし等はメッキ面を傷つけますので、使用しないで下さい。
- ・酸性洗剤はメッキを侵しますので使用しないで下さい。間違っても使用した時は、すぐに水洗いして下さい。
- ・錆肌品・研磨品・特殊カラーメッキ品は、経年により色が変わることがあります。

無料修理規定

- 取扱説明書、貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間中に故障した場合。
- 保証期間内に故障して修理を受ける場合には、お取付店に連絡の上、修理に際して本書をご提示下さい。
- ご移転、ご贈答品などで本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、お近くの施工業者にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - 使用・維持管理上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - 温泉水、中水、飲用不可な井戸水利用による故障及び損傷
 - お買い求めの後の取付場所の移動及びそれに伴う落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、凍結、その他天災地変、公害又は戦争、暴動等の破壊行為等、その他事故及び損傷の原因が商品以外にある場合。
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）及び外部ノイズ等に起因する不具合。
 - パッキン等消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造等に起因する不具合。
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品本体以外の不具合に起因する不具合及び表面仕上げの色あせ等の経年変化又は使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合。
 - 海岸付近、温泉地域などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
 - 汚れやメッキ部品の錆等、通常のお手入れ不足による不具合。
 - ねずみ、昆虫等動物の行為に起因する不具合。
 - 砂やゴミ、給水・給湯配管の錆等異物流入及び水垢の固着に起因する不具合。
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷。
 - 本書の提示が無い場合。
 - 本書にお客様名、お取付店名、お取付日の記入の無い場合、あるいは字句の書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
 - ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - 保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は当社窓口にお問い合わせ下さい。

